



富山県

No.87 2018 年 4 月

中央植物園だより



第 20 回私の植物写真展入選作品「どれにしようかな」撮影 / 久野 純子さん

ジギタリス（オオバコ科）

野生種はヨーロッパから地中海沿岸に分布する多年草または越年草で、多くの園芸品種が流通しており、花壇などで栽培されます。旧ゴマノハグサ科。

今年のサクラ「ヤマザクラ」

富山県中央植物園では毎年「今年のサクラ」を決めて、その種類の紹介や植物画の展示を行っています。2018 年は昨年 5 月に魚津市で開催された第 68 回全国植樹祭で皇后陛下がお手播きされたヤマザクラを選定しました。園内のサクラ・ウメ園とクリ・コナラの森で 4 月中旬から下旬に見ごろとなります。また、園内のインフォメーションコーナーではヤマザクラの植物画の絵はがき（4 枚 1 組）も販売しております。



「第5回新春カトレヤ展」開催レポート

正月の恒例行事となりました「新春カトレヤ展」を1月5日から8日まで開催しました。昨年秋からの天候不順にもかかわらず、多数のカトレヤが出品され、会場はカトレヤの甘い香りが充満していました。同時に開催されたクラブ・オーキッド・トヤマ会員による講習会は、展示解説と共に展示会場で行われ、来園者に好評でした。期間中は気温の低い日が続きましたが、多数の方が来園され観賞されました。



多数のカトレヤを展示。



相談コーナーでは来園者が気軽に栽培方法を質問していた。



展示品を見ながらの講習会。

第5回 クリスマスローズ展 開催レポート

2月23日～25日に第5回クリスマスローズ展が開催されました。今年は富山クリスマスローズの会、富山県クリスマスローズ生産組合の約120鉢を展示、昨年も協力いただいた東昌子押花会によるクリスマスローズの押花作品を展示しました。そのほかの富山クリスマスローズの会では鉢物の人気投票を行い、25日に投票結果の人気上位の鉢を展示したブースでは熱心に写真撮影する光景がみられました。また、24日にはクリスマスローズ栽培で著名な東京の松村みよ子さん（松村園芸）を講師に栽培講習会を開催し、多くの方が聴講されました。



人気投票上位の3作品



今回の特別展示、カラーリーフクリスマスローズ。



会場は熱心に作品を観賞する人でにぎわった。

二口善雄画伯の植物画に見る園内の植物

富山県中央植物園には、二口善雄画伯（1900-1997）から寄贈された 1900 点余りの植物画が収蔵されています。その中から、4月から6月の植物を紹介します。



チューリップ（1970 年 3 月 11 日制作）
横 25.5cm × 縦 34.5cm

富山でのチューリップの開花は 4 月中旬から下旬にかけてが最盛期です。園内の球根植物コーナーでは野生種を、フローラルステージには園芸品種を植えています。



サクラ ‘関山（カンザン）’（1959 年
4 月 1 日制作）横 40cm × 縦 55cm

サトザクラの中で古くから親しまれている八重咲品種で、園内では花のプロムナード南側で 4 月下旬に見頃となります。県内では倶利伽羅峠の‘関山’が有名です。



ボタン（1954 年 4 月 2 日制作）
横 40cm × 縦 55cm

ボタン・シャクヤク園ではおよそ 70 品種のボタンが、4 月下旬から 5 月上旬に開花します。

富山の植物 ◎『シマカンギク（六倍体）』

Chrysanthemum indicum L.

園長 中田 政司

富山県植物誌（大田ほか 1983）にサンインギク *Chrysanthemum aphrodite* Kitam. という名前で記録されている氷見市のキクは、中田・竹内（1998）の調査によってシマカンギク六倍体と園芸ギクとの雑種個体群であることが明らかにされ、Ohashi & Yonekura (2004) による日本産キク属の学名の整理では、雑種として *C. x aphrodite* Kitam. に変更されました。

シマカンギク（広義）は中国、台湾、朝鮮、日本などに分布し、日本では染色体数が $2n=36$ の四倍体と、 $2n=54$ の六倍体とが分布しています。六倍体は九州北部から中国地方西部が分布の中心で、富山県氷見市は分布の端、東・北限にあたります。

1998 年の氷見市のサンインギクの調査では（図 1）、外見では正常なシマカンギク六倍体（図 2 参照）とみなされる個体（図 1 矢印、図 3）が見られました。すべてが雑種化して絶滅してしまわないうちに、純粋な野生のシマカンギク六倍体を探し出して、植物園で生息域外保全を図りたいと思います。



図 1. 氷見市大境のサンインギク（雑種個体群）の頭花の変異



図 2. 大分県のシマカンギク六倍体（谷口研至氏提供）



図 3. 外見上シマカンギク六倍体とみられる氷見市のキク

絶滅危惧種タカクマムラサキの栽培

タカクマムラサキは今から 70 年ほど前に鹿児島県の高隈山系で発見された種類で、その当時の標本以外に生育が確認されませんでした。2000 年代に入り種子島と宮崎県で新たに確認されました。しかし、最初の発見地ではその後生育が確認されず、環境省のレッドリスト 2012 では絶滅危惧ⅠA に指定されています。富山県中央植物園の志内利明主任が現地で日本植物園協会の絶滅危惧種調査を行った際、高隈山系での生育を確認しました。その後自生地外での保全のため栽培増殖を行いました。開花結実すると親株は翌年枯死する問題が起きました。冬季に多数の果実をつけるため、木が衰弱することが影響していると考え、未熟な果実を摘果したところ、親株も生き残ることが判明しました。

このように生息域外保全に成功したタカクマムラサキを熱帯雨林植物室で見ることができます。



写真 タカクマムラサキの花
(上)と果実(右)



催し物のご案内

■企画展示 サンライトホール

企画展には入園料が必要です。

サクラの企画展

写真展「植物園のサクラとさくらまつり」

3月16日(金)～4月25日(水)

第37回ツツジ・シャクナゲ展

4月28日(土)～4月30日(月・祝)

第39回春のラン展

5月4日(金・祝)～5月6日(日)

私の植物画展

5月11日(金)～5月30日(水)

さつき展

6月1日(金)～6月3日(日) 富山県月会

6月4日(月)～6月6日(水) 寿さつき会

ウチョウラン展

6月16日(土)～6月17日(日)

夏のラン展

7月7日(土)～7月8日(日)

■特別開園

第7回さくらまつり

4月上・中旬の土日を含む4日間

9:00～21:30

(開花状況により変更することがあります)

さくらまつり期間中入園料/200円

■講演会

「富山の外来生物(仮)」

5月12日(土) 13:00～15:30

会場:管理研修棟研修室

■講座・講習会

栽培講習会

「シャクナゲの栽培と管理」

4月29日(日)・30日(月・祝)

両日とも14:00～15:30

会場:ドリアスホール(入園料が必要です)

栽培講習会

「ランの栽培と管理」

5月5日(土・祝)・6日(日)

両日とも14:00～15:30

会場:ドリアスホール(入園料が必要です)

植物画講習会 ◆要申込

5月19日(土)・20日(日)

両日とも10:00～16:00

会場:管理研修棟研修室

植物写真教室 ◎要申込

「やさしい花の撮り方」

6月3日(日) 13:00～16:00

会場:管理研修棟研修室

■月例行事

月例行事には入園料が必要です。

植物ガイド

ーボランティアと歩く植物園ー

第1,2,4日曜日 13:30～14:00

集合場所/サンライトホール

ー園長と歩く植物園ー

第3日曜日 13:30～14:00

集合場所/サンライトホール

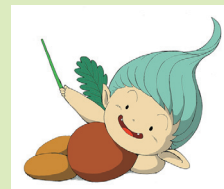
緑のコンサート

5月5日(土・祝)、6月2日(土)

14:00～15:00

◎要申込 事前の申込が必要です。
申込は1ヶ月前から前日までに「電話」でお申込ください。

◆要申込 事前の申込が必要です。
申込は1ヶ月前から往復はがき、FAX、メール(botanic@bgty.org)で受付けます。



富山県中央植物園 入園案内

開園時間 9:00～17:00(入園は16:30まで)
(11月～1月は9:00～16:30、入園は16:00まで)

休園日 毎週木曜日

(4月第1,2木曜日とGW、お盆、祝日の場合は開園)

年末年始(12月28日～1月4日)

入園料 大人(一般および大学生) 500円
団体料金(20名以上) 400円
高校生以下ならびに70歳以上通年無料

冬期入園料(12月～2月)

大人(一般および大学生) 300円
団体料金(20名以上) 240円
高校生以下ならびに70歳以上通年無料

年間パスポート(購入日より1年間有効)2,000円

交通案内 JR富山駅から、富山地鉄バス「ファボーレ」経由萩の島循環または「ファボーレ」経由速星行き(休日のみ)に乗り「中央植物園口」停留所下車、徒歩約12分/富山市中心部より車で約15分/北陸自動車道富山インターより車で約15分/JR速星駅より車で約8分